

H24 北陸地域国際物流戦略チーム 幹事会

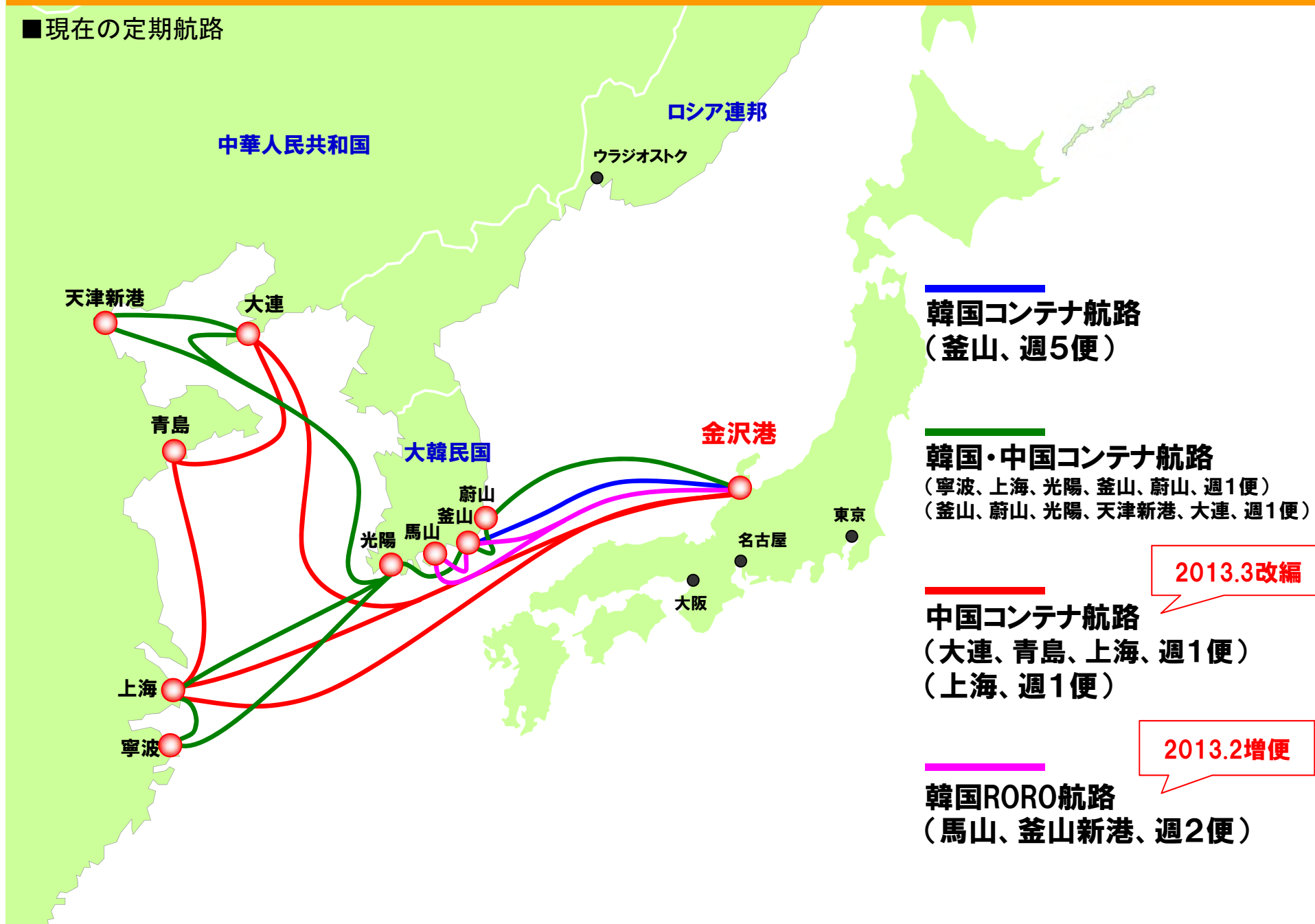
日本海側拠点港における取り組み状況
【金沢港・七尾港】

平成25年 3月8日

石川県

金沢港【国際海上コンテナ】

■現在の定期航路



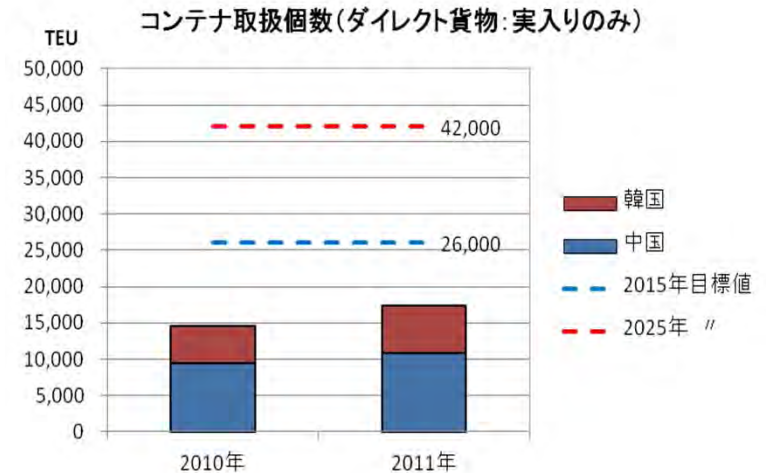
2013.3改編

2013.2増便

金沢港【国際海上コンテナ】

■実績及び目標値

ダイレクト貨物のみ			外貨コンテナ取扱個数 (TEU)					2010年比	
			中国	韓国	ロシア	その他	合計		
2010年	輸出	実入り	4,563	2,083			実入り	—	
		空					14,639		
2011年	輸出	実入り	5,284	2,778			実入り		1.18倍
		空					17,307		
2011年	輸入	実入り	4,840	3,153			全体	全体	
		空					—		
2015年 (目標値)			26,000 TEU (実入りのみ)					1.78倍	
2025年 (目標値)			42,000 TEU (実入りのみ)					2.87倍	



■定期航路(平成25年3月5日現在)

航路名	便数 (便/週)	寄港地	備考
中国航路	1便/週	大連—青島—上海—金沢—新潟—伏木富山—舞鶴—大連	
	1便/週	上海—境港—新潟—伏木富山—小樽—伏木富山—金沢—上海	1便減(2013.3)
釜山航路	2便/週	釜山—金沢—敦賀—舞鶴—敦賀—金沢—境港—釜山	
	1便/週	釜山—徳山—門司—釜山—境港—金沢—敦賀—釜山	
	1便/週	釜山—金沢—新潟—秋田—釜山	
	1便/週	釜山—境港—金沢—直江津—酒田—釜山	
韓国・中国航路	1便/週	釜山—酒田—伏木富山—金沢—境港—釜山—蔚山—光陽—天津新港—大連—釜山	
	1便/週	釜山—新潟—伏木富山—金沢—敦賀—蔚山—釜山—光陽—寧波—上海—光陽—釜山	新規 (2012.11)
合計	9便/週		

金沢港【国際海上コンテナ】

■ 計画実現のための推進体制や行動計画

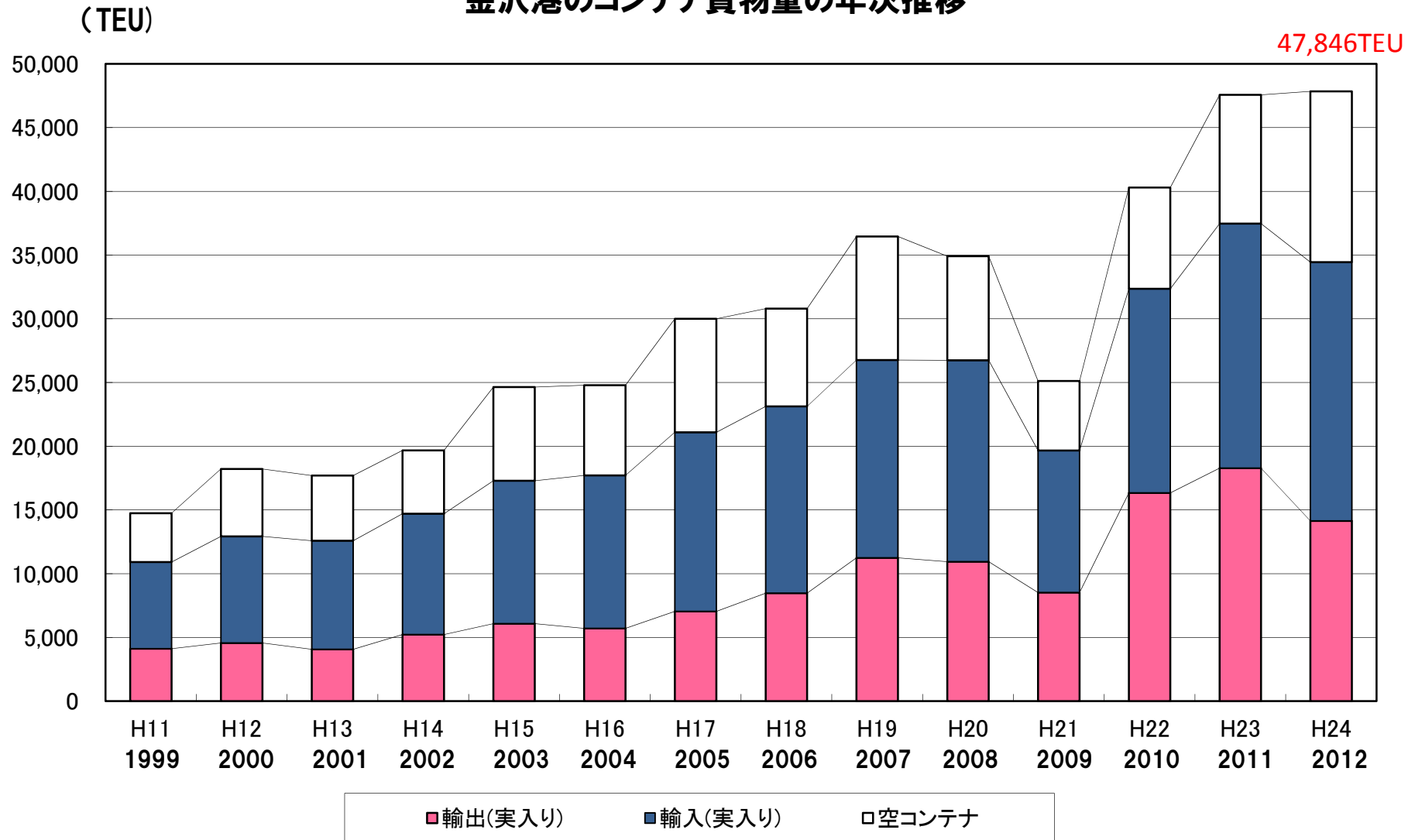
計画書記載事項	主な取り組みと今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> ・県、市、金沢港振興協会、荷役企業が官民一体となってポートセールスを実施し、地元企業を中心に金沢港利用拡大や新規荷主の獲得に取り組む。 ・中国現地における官民一体となったポートセールスを実施し、県内からの進出企業を中心に金沢港利用拡大や新規荷主の獲得に取り組む。 ・「金沢港利用促進会議」が中心となり、金沢港の利便性向上に向けて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23 地元企業を中心に65社を訪問し、個別ニーズの聞き取りや金沢港利用を要請。H24は地元企業を中心に130社を訪問予定。 ・H24 5月、7月、11月、2月の3回にわたって県内からの進出企業を中心に上海でポートセールスを実施。 ・H24 4月、10月、12月に合い積み輸送を実施〔その他〕 ・H24.3 韓国の物流事情を踏まえたポートセールスを実施するため、韓国在住の日本人、韓国人各1名に物流アドバイザーとして委嘱

■ 段階計画の推進状況

計画書記載事項	主な取り組みと今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となったポートセールスの継続的な実施による地元港利用率の向上 ・港湾活用型企業の集積推進 ・海外展開する企業への支援 ・港湾荷役のサービス向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元港利用率については、平成20年の国調査で輸入54%、輸出35%であったが、平成23年実施の県調査では輸入が54%、輸出42%へと向上した。 ・H23 立地企業への補助限度額を引き上げるとともに、誘致企業従業員に対する生活相談窓口を設置し、サポート体制の整備を実施 ・国際ビジネスサポートデスクによる相談受付や海外見本市への出展経費の助成、海外での事業所設置に必要な資金についての融資制度などを整えている。H24は既に56件の相談をサポートしているほか、海外展開に対する融資を3件認定している。 ・金沢港の荷役企業では、コンテナ管理のIT化やコンテナ船の夜間入港に対して午前3時まで作業を行うなど、サービス向上に努めている。

金沢港【国際海上コンテナ】

金沢港のコンテナ貨物量の年次推移



注) TEU(20フィートコンテナ換算によるコンテナ個数)

金沢港【国際海上コンテナ】

金沢港利用貨物拡大事業費補助金

金沢港に寄港する国際コンテナ定期航路を利用していただいた荷主に補助金を交付

【助成対象】 金沢港の国際コンテナ定期航路を利用して輸出入を行い、
前年度実績より50TEU以上利用を増やした荷主

【助成金額】 前年度より増加した1TEUにつき2,000円を助成

【上限額】 1企業あたり、年間100万円まで

金沢港物流ルート転換支援事業費補助金

金沢港を利用した新たな物流ルートを検討中の荷主に対し、金沢港の航路と陸上輸送を
組み合わせたドアツードアの物流ルートを提案し、トライアル輸送等に対して補助金を交付

【助成対象】 金沢港を組み込んだ新たな物流ルートのトライアル輸送を行う荷主

【助成範囲】 物流ルート構築のための計画策定費用、品質確認のための検証費用
トライアル輸送にかかる経費の一部 等

【上限額】 1企業あたり、年間100万円まで

各国の物流事情を踏まえたポートセールスの推進

「上海ポートセールス・チーム」

- 発足日 2010年10月19日(火)
- チームの構成 県(港湾活用推進室、上海事務所)、金沢市、神原汽船、日本通運、北國銀行、金沢港運、金沢港振興協会の連携による現地サポート体制
- 活動内容
 - ・物流に関する情報交換と官民連携体制の強化
 - ・荷主の相談窓口としての役割強化
 - ・荷主のニーズに応じた物流提案 など

石川県上海事務所：上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心3楼
TEL 86-21-62700489 FAX 86-21-62700499

「韓国物流アドバイザー」

- アドバイザー ソウル市と釜山市に配置(日本人1名、韓国人1名)
- 活動内容
 - ・アドバイザーの人脈を活かしたセールス活動
 - ・現地における荷主の相談窓口
 - ・韓国船会社との連携による航路拡充や利便性向上への船社働きかけ

金沢港【国際海上コンテナ】



蔵置能力: 約3割向上
43,500TEU/年 → 56,900TEU/年

荷役効率: 約3割向上
27TEU/時間 → 35TEU/時間

金沢港【国際海上コンテナ】

H25年2月より2便化



サンスタードリーム(韓国)	
SANSTAR DREAM	
国際トン数:	11,820トン
貨物積載量:	258TEU
速力:	21.5knot
建造:	1995年v

＜サンスタードリーム＞
釜山新港(金)－金沢(土)－敦賀－馬山(月)
－釜山新港(月)
＜スターリンクワン＞
釜山新港(火)－金沢(水)－敦賀
－釜山新港(木)



スターリンクワン(韓国)	
STARLINK ONE	
国際トン数:	7,097トン
貨物積載量:	200TEU
速力:	23.5knot
建造:	1997年

七尾港【原木】

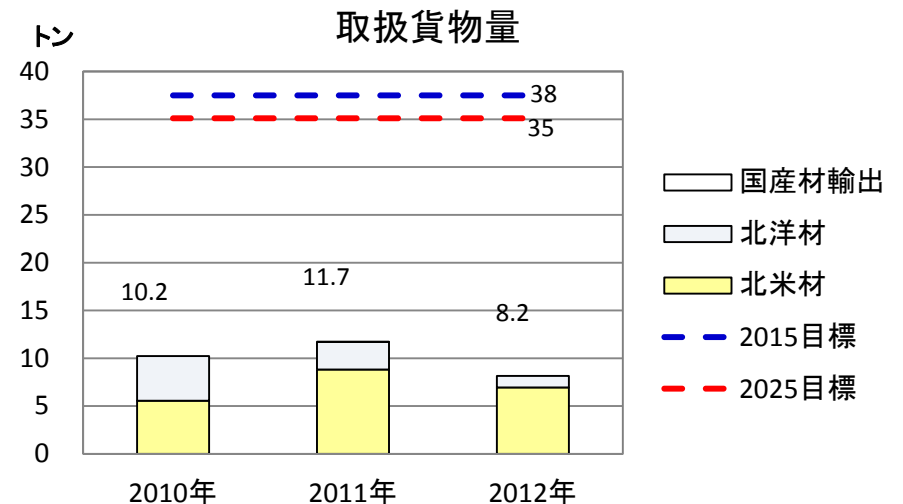
■七尾港の概要



七尾港【原木】

■実績及び目標値

	品目	外貨取扱貨物量 (トン)	3万DWT級原木貨物船 入港回数
2010年 (実績値)	北米材	55,631	3万DWT級 7回
	北洋材	46,623	
	合計	102,254	
2011年 (実績値)	北米材	88,290	3万DWT級 6回 5万DWT級 2回
	北洋材	28,689	
	国産材(中国輸出)	397	
	合計	117,376	
2012年 (実績値)	北米材	69,506	3万DWT級 4回
	北洋材	12,028	
	合計	81,534	
2015年 (目標値)	合計	375,000	
2025年 (目標値)	合計	351,000	



■計画実現に向けた取り組み状況

- ・原木(北米材)フィーダー輸送網の確立に向けたトライアル

⇒原木の商流の確保

- ・大浜地区国際物流ターミナル(水深13m)の整備

⇒水深11mで工事完了(H24)し、
3万DWT級北米材船の満載での
入港が可能

七尾港【原木】

■計画実現に向けた取り組み

○原木フィーダー輸送トライアル

商社や地元経済界とともに、七尾港から日本海側他港へ輸入原木をトライアルとしてフィーダー輸送。
今年度トライアルでは、それぞれの役割分担を整理し、実際の流れを確認。

・H24トライアル 実施回数 東方面(新潟)2回

●トライアル輸送イメージ

